

| 観点<br>番号                                     | 発行者の番号・略称  | 使用学年・分野 | 教科書の記号・番号                    | 教科書名   |
|--|--|---------|------------------------------|--------|
|  |  | 2・東書    | 第3学年<br>第4学年<br>第5学年<br>第6学年 | 地図・303 |
| 取扱内容<br>学習指導<br>要領の総<br>則及び各<br>教科の目<br>標，内容 | <p>○ 社会科の目標が達成できるよう，次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図帳の使い方」において，方位磁針を用いて身近な方位を調べたり，地図のきまりを使った地図づくりに取り組んだりする活動</li> <li>・「日本の全図」において，日本の東西南北端を調べたり，都市と都市との間の距離を調べたりする活動</li> <li>・「日本の地方図」において，本州から九州へ渡る交通路を調べたり，北陸地方の伝統工芸を読み取ったりする活動</li> <li>・「世界の地図」において，世界で一番高い所と深い所を調べたり，北極海を囲んでいる全ての国を調べたりする活動</li> <li>・「資料・統計」において，日本の最大の貿易相手国を読み取ったり，太平洋ベルトにみられる工業地帯や工業地域が海に面している理由を考えたりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島全体の災害地図を掲載し，災害の起きる要因や防災対策について考察したり，日本と世界の歴史地図を掲載し，同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする活動</li> </ul> |         |                              |        |
| 内容の<br>構成・<br>排列，<br>分量等                     | <p>○ 内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがひ」など，各種の基礎的な資料を掲載し，基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫</li> </ul> <p>○ 内容の分量については，「地図帳の使い方」が8ページ，「日本の全図」が7ページ，「日本の地方図」が34ページ，「世界の地図」が20ページ，「資料・統計」が33ページであり，総ページ数は102ページで，前回とほぼ同様となっている。</p>   |         |                              |        |
| 使用上の<br>配慮等                                  | <p>○ 冒頭の世界地図に，世界の国の「ありがとう」の言葉などを掲載したり，日本地図に，各都道府県からイメージされる特産品などのイラストを掲載したりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ キャラクターが地図の基本を解説したり，「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設けたりするなど，児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって，読みやすいフォントとなるように配慮したり，識別しやすい配色を用いたりするとともに，二次元コードを掲載し，地形が分かるドローン動画を活用できるようにするなど，使用上の便宜が図られている。</p>  |         |                              |        |
| 指導上の<br>配慮等                                  | <p>○ 地域素材については，北海道地方の地図を掲載している。また，アイヌ語の地名や北海道で発生した災害，日本の歴史的景観として函館元町を掲載している。本市については，最低気温を記録したことを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については，1人1台端末を活用した学習活動として，二</p>   |         |                              |        |

|                         |   |
|-------------------------|---|
|                         | <p>次元コードにアクセスすることにより，都道府県別地図の他，ドローン動画や統計資料などのコンテンツを活用することができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については，「世界全図と地球儀」のページにおいて，世界には6つの大陸と3つの海洋があることを説明しており，地理的分野の学習につなげることができる配慮がなされている。</p> <p>また，「世界とのかかわり」のページにおいて，大航海時代の世界地図を掲載し，ヨーロッパの国々がアジアに進出した理由について考えさせることで，歴史的な分野の学習につなげることができる配慮がなされている。</p>   |
| <p>本市児童の<br/>学習の状況等</p> | <p>○ 地図帳を活用できる知識や技能を身に付けることができるよう，方位や地図記号について説明した地図のきまりや索引や縮尺について説明した地図帳の使い方を8ページにわたり扱う工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料を関連付けて，社会的な事象の特色や相互の関連について考える力を育むことができるよう，「日本の貿易」のイラストの吹き出しで地図やグラフを関連付けて日本の貿易の特色を考えるよう促す工夫がなされている。</p> <p>○ 47都道府県についての理解を深めることができるよう，「日本の47都道府県」のページを設ける配慮がなされている。</p> <p>○ 北方領土について理解を深められるよう，「日本とそのまわり」及び「日本の歴史」のページを設け，日本が返還を求めている背景を説明する配慮がなされている。</p> |
| <p>その他</p>              |   |

| 観点                           | 発行者の番号・略称  | 使用学年・分野 | 教科書の記号・番号                    | 教科書名   |
|------------------------------|--|---------|------------------------------|--------|
|                              | 番号   | 46・帝国   | 第3学年<br>第4学年<br>第5学年<br>第6学年 | 地図・304 |
| 取扱内容<br>学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容 | <p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図帳の使い方」において、縮尺を用いて実際の距離を調べたり、方位や地図記号などを用いた宝探しに取り組んだりする活動</li> <li>・「日本の全図」において、富士山がある県を調べたり、東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べたりする活動</li> <li>・「日本の地方図」において、中国地方で一番高い山の高さを調べたり、沖縄島で栽培されている果物を読み取ったりする活動</li> <li>・「世界の地図」において、本初子午線上に都市記号がある国を調べたり、オーストラリアでたくさん採れる原料品を調べたりする活動</li> <li>・「資料・統計」において、日本が世界各地に輸出しているものを読み取ったり、田が広がっているところの地形の特徴を考えたりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働かせたりする活動</li> </ul> |         |                              |        |
| 内容の構成・排列、分量等                 | <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸時代の結びつき」や「日本の世界遺産」など、歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史事象を地理的な空間の広がり結び付けることで深い学びを実現できるような工夫</li> </ul> <p>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が14ページ、「日本の全図」が15ページ、「日本の地方図」が46ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が37ページであり、総ページ数は132ページで、前回より約10%増となっている。</p>   |         |                              |        |
| 使用上の配慮等                      | <p>○ 地図の見方を示唆したり、活用を促したりするキャラクターを掲載したり、世界のあいさつを二次元コードの音声コンテンツと併せて掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「トライ!」「地図マスターへの道」を設けたり、巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるように配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、二次元コードを掲載し、47都道府県のクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>   |         |                              |        |
| 指導上の配慮等                      | <p>○ 地域素材については、北海道地方及び北海道地方南部の地図を掲載している。また、北海道のアイヌ語地名や北海道で発生した災害、日本の世界遺産として知床を掲載している。本市については、最低気温を記録したことを扱っている。</p> <p>○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードにアクセスすることにより、デジタル地図の他、地図クイズや</p>   |         |                              |        |

|                         |   |
|-------------------------|---|
|                         | <p>統計資料などのコンテンツを活用することができる工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、「世界と地球儀」のページにおいて、世界には6つの大陸と3つの海洋があることを説明しており、地理的分野の学習につなげることができる配慮がなされている。</p> <p>また、「世界のSDGs」のコーナーにおいて、世界の国々が取り組む環境保全の取組などを紹介しており、地理的分野の学習につなげることができる配慮がなされている。</p>   |
| <p>本市児童の<br/>学習の状況等</p> | <p>○ 地図帳を活用できる知識や技能を身に付けることができるよう、方位や地図記号について説明した地図のやくそくや索引や縮尺について説明した地図帳の使い方を14ページにわたり扱う工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料を関連付けて、社会的事象の特色や相互の関連について考える力を育むことができるよう、「地図マスターへの道」において、地形図と土地利用図を関連させて田が広がっているところの地形の特徴を考えさせる問題などを掲載する工夫がなされている。</p> <p>○ 47都道府県についての理解を深めることができるよう、「都道府県の名前と位置」のページを設ける配慮がなされている。</p> <p>○ 北方領土について理解を深められるよう、「日本の領土とそのまわり」のページを設け、「日本固有の領土」の1つとして説明する配慮がなされている。</p> |
| <p>その他</p>              |   |